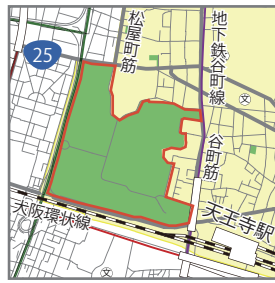


## 23. 天王寺公園・天王寺動物園



◆所在地  
天王寺区茶臼山町

### ◆概要

明治 36 年（1903 年）の第 5 回内国勸業博覧会の跡地利用として東半分を公園にしたもので、明治 42 年（1909 年）に開設された長い歴史をもつ。昭和 62 年（1987 年）に、開催された天王寺博覧会を契機に水と緑をふんだんに取り入れた公園へと一新され、沈床花壇や小川の小径、バラのアーチなど見どころも多彩である。また、公園内には昭和 8 年（1933 年）に大阪市に寄贈された旧黒田藩藏屋敷長屋門（大阪府有形文化財、大阪市顕彰史跡）や作品「めし」の一節を刻んだ林芙美子文学碑なども設置されている。

動物園に関しては、大正 4 年（1915 年）1 月に日本で 3 番目の動物園として開園した。約 11ha の園内におよそ 200 種、900 点の動物が飼育されており、年間 120 万人以上の利用者で賑わっている。

## 24. 慶沢園



◆所在地  
天王寺区茶臼山町

### ◆概要

もと住友本邸の庭で、美術館の敷地とともに大阪市へ寄贈されたものであり、10 年余りの歳月を要して完成した純日本風の回遊式庭園である。明治 41 年（1908 年）、庭師小川治兵衛が作り、伏見宮貞愛親王が慶沢園と命名した。

## 25. 茶臼山・河底池・和気橋



◆所在地  
天王寺区茶臼山町

### ◆概要

大坂冬の陣で家康の本陣となり、夏の陣では幸村が布陣し激戦地となった茶臼山は、奈良時代に和気清麻呂が河内川の流水を南に引こうとした河底池とともに、天王寺公園の風景に取り入れられている。

和気橋は、延暦 7 年（788 年）和気清麻呂が旧大和川の流を変えらるために上町台地を開削した際、茶臼山古墳の濠を利用した名残が河底池であると伝えられていることから、「和気橋」と名付けられている。